

## 第九節 開かれた学校づくりと各種評価制度の導入

### 一 開かれた学校づくり

#### 開かれた学校づくりとは何か

開かれた学校づくりとは、教育活動を学校だけで押し進めるのではなく、学校を取り巻く地域、さらには保護者や同窓生などと連携をはかりながら、学校の諸活動を推進していく一連の学校運営の方法である。開かれた学校づくりは、たんに、地域住民に体育館や校庭などの学校施設の開放をすることだけを指す言葉ではない。これは、前述してきたような外部に対して学校を開くことだけでなく、校内に開かれた学校づくりといった視点も重要であり、校内の教職員の間の意思疎通をより円滑に進めていくことも、開かれた学校づくりの一環といえよう。学校が、こうした開かれた学校づくりを推進していくことになった背景には、学校とそれを取り巻く社会の関係の変化にともない、地域・保護者等との連携をさらに充実させていく必要性が生じたからに他ならない。「総合的な学習の時間（高等学校では二〇〇三（平成一五）年四月から実施）」や「完全学校週五日制（二〇〇二（平成一四）年四月）」の本格施行、生涯学習社会の進行なども背景にあったと思われる。

#### 学校評議員制度

学校が地域とともにあるという視点から、学校教育について幅広く地域住民や保護者・同窓生などの意見を聞

き、学校運営に反映させていく仕組みとして、学校評議員の設置がおこなわれた。

一九九八（平成一〇）年九月二十一日の地方教育行政の在り方に関する中央教育審議会答申の中で、「学校に学校評議員を置く。評議員は広い分野から委嘱し、学校運営に関し意見を述べ助言する」とある。

さらに、二〇〇〇（平成一二）年一月二十一日付けの官報で、四月から学校評議員を設置する制度の創設や、教員免許がない民間人でも校長に就任できるよう任用資格を大幅に緩和することとした学校教育法施行規則の改正などが告示された。

これを受け、長野県教育委員会は、二〇〇〇（平成一二）年三月二十九日までに、二〇〇一年度から始める「学校評議員設置モデル事業」に指定する県立高校八校を決定した。この八校とは、北信の須坂・更級農業、東信の上田・岩村田、南信の諏訪二葉・飯田長姫、中信の梓川・松本深志の各高校であった。

二〇〇二（平成一四）年四月、「長野県立高等学校評議員設置要綱」（以下「要綱」）に基づき、この年から、長野県の全県立高校で学校評議員を設置し、評議員を活用した取組が進んでいる。

「要綱」では、県立高等学校に学校評議員を置く（第1条）、学校評議員の数は、七人程度（第三条）、任期は委嘱の日から当該年度末まで（第4条―1）、校長は県教育委員会に学校評議員を推薦する（第5条）、県教育委員会が学校評議員を委嘱する（第5条―2）、学校評議員は、校長の求めに応じ、一人一人がそれぞれの責任において意見を述べる（第6条―1）、校長は、学校評議員の活動計画、活動状況について教育長へ報告（第6条―3）等が記されている。

この「要綱」に基づき、全県的には、各学校では年間に二回から三回程度の学校評議員会を開催し、授業公開をしながら、学校運営方針、授業、進路指導、服装、通学時の交通マナー等多岐にわたり意見を求め、学校運営

のために生かしている。

### 野沢北高校での取組

#### 当初の取組

こうした国・県の動きに合わせて、野沢北高校では、学校評議員運営委員会を設置して、二〇〇二（平成一四）年七月、学校評議員の人数および選出母体、学校評議員会の回数および時期について、原案を作成している。

それによると、学校評議員の人数は七名とし、選出母体は、PTA、同窓会、地元自治体、中学校関係、商工会関係としている。人選については、教職員から推薦を募ってもいる。この年は、二回の会議を行い、第一回を十一月二十二日（金）、第二回を二月三日（月）に実施した。

一〇月には、学校評議員を、PTA会長、同窓会会長、野沢区長会長、野沢中学校校長、商工会関係者、女性のPTA副会長、女性である大学教員の七名とし、吉田茂男校長名で学校評議員あてに依頼文を発送している。その依頼文には、

長野県では本年度より学校評議員を各高等学校におくことを進めていること。

この趣旨は、平成一四年度からの新学習指導要領の完全実施や完全学校週五日制の実施等を踏まえ、学校がより一層、保護者や地域住民等の信頼に応え、連携協力を進めて、開かれた学校づくりを推進していくこと。

もとより、本校では地域の方々のご理解をいただきながら学校運営を進めてまいりましたが、新しく学校評議員の皆様にも、学校運営の状況等をご説明し、ご意見を伺える機会を得られることは大変貴重なことであると。

本年度、学校評議員の方々にご意見をいただきたいと考えている課題は、まず、①全般にわたって本校の学  
校運営に関するご意見をいただくこと、②保護者や地域住民の方々からいただくご協力のあり方についてご意  
見をいただくこと等。

そして十一月二十二日(金)午後四時から六時の時間帯で、岳南会館にて開かれた第一回学校評議員連絡会の次第  
を見ると、学校評議員七名、学校側は、校長、教頭など二十七名の教職員が会議に参加している。

会議内容は、1、学校長挨拶及び学校評議員委嘱、2、本校職員自己紹介、3、学校評議員自己紹介、4、学  
校の概要説明、5、質疑・ご意見、6、学校長まとめと御礼の言葉であった。

第二回は、二月三日(月)、第五時限(一四時三〇分から十五時三五分)の授業参観後、十六時から岳南会館で会議が  
行われた。

この年の学校評議員会の会次第を見る限り、その後の会議も、会議に先立つ授業参観も含めて、ほぼ同様にと  
り行われている。

現在、学校評議員に関する記録として校内に残されているものは、二〇〇二年の資料後は、二〇〇六(平成一八)  
年度からである。

この年の学校評議員は七名であり、その選出母体は、保護者二名、同窓会関係者一名、自治体関係者一名、企  
業関係者一名、学識経験者二名(大学関係者、中学校関係者)であった。

以下年次別に、残された資料を表1として作成した。回数は、いずれも三回であり、六月から七月に第一回、  
十月ごろに第二回、そして一月から二月にかけて、第三回が行われている。

おおよその会の流れは、第一回では、会に先立ち授業公開を行い、その後、学校評議員に、県教育委員会から

## 第九節 開かれた学校づくりと各種評価制度の導入

表1 学校評議員会の開催日程年度ごとの開催日程

年度	第1回	第2回	第3回
2006（平成18）年度 学校評議員連絡会	6月27日(火)	12月22日(金)	2月9日(金)
2007（平成19）年度 学校評議員連絡会	6月18日(月)	10月30日(火)	2月14日(木)
2008（平成20）年度 資料なし			
2009（平成21）年度 資料なし			
2010（平成22）年度 学校評議員連絡会	6月28日(月)	10月29日(金)	2月10日(木)
2011（平成23）年度 学校評議員連絡会	7月22日(金)	10月25日(火)	2月17日(金)
2012（平成24）年度 学校評議員会	7月2日(月)	10月23日(火)	2月5日(火)
2013（平成25）年度 学校評議員会	6月17日(月)	10月22日(火)	2月3日(月)
2014（平成26）年度 学校評議員会	7月8日(火)	10月28日(火)	2月3日(火)
2015（平成27）年度 学校評議員会	7月21日(火)	10月23日(金)	2月2日(火)
2016（平成28）年度 学校評議員会	7月11日(月)	10月21日(金)	1月31日(火)
2017（平成29）年度 学校評議員会	7月18日(火)	10月24日(火)	1月30日(火)
2018（平成30）年度 学校評議員会	7月17日(火)	10月23日(火)	1月29日(火)
2019（令和元）年度 学校評議員会	7月22日(火)	10月29日(火)	1月28日(火)
2020（令和2）年度 学校評議員会	7月21日(火)	10月27日(火)	新型コロナウイルス感染対策として書面会議で実施
2021（令和3）年度 学校評議員会	7月28日(水)	10月27日(火)	新型コロナウイルス感染対策として書面会議で実施

野沢北高等学校学校評議員運営委員会資料より作成